資料１－４

府中市総合計画市民検討会議について

１　役割と意義

⑴　第６次府中市総合計画後期基本計画の進捗状況を確認するとともに、市（各部課）が考えている次期総合計画の策定に向けた「見直し論点（基本施策３２本ごと）」、「めざすまちの姿」、「基本目標」について、市民の視点で確認し、意見を述べる。

⑵　公募市民と市の職員がお互いの意見を聞き、協働の推進に向けた意見を述べる。

⑶　出された意見は、市長に報告され、その後は府中市総合計画審議会における審議や各部課での検討作業において活用・反映される。

２　検討体制

４つの基本目標と行財政運営の計５分野に関して、次のとおり分野ごとに部会を設置し、検討する。

ア　健康・福祉部会
イ　生活・環境部会
ウ　文化・学習部会
エ　都市基盤・産業部会
オ　行財政運営部会

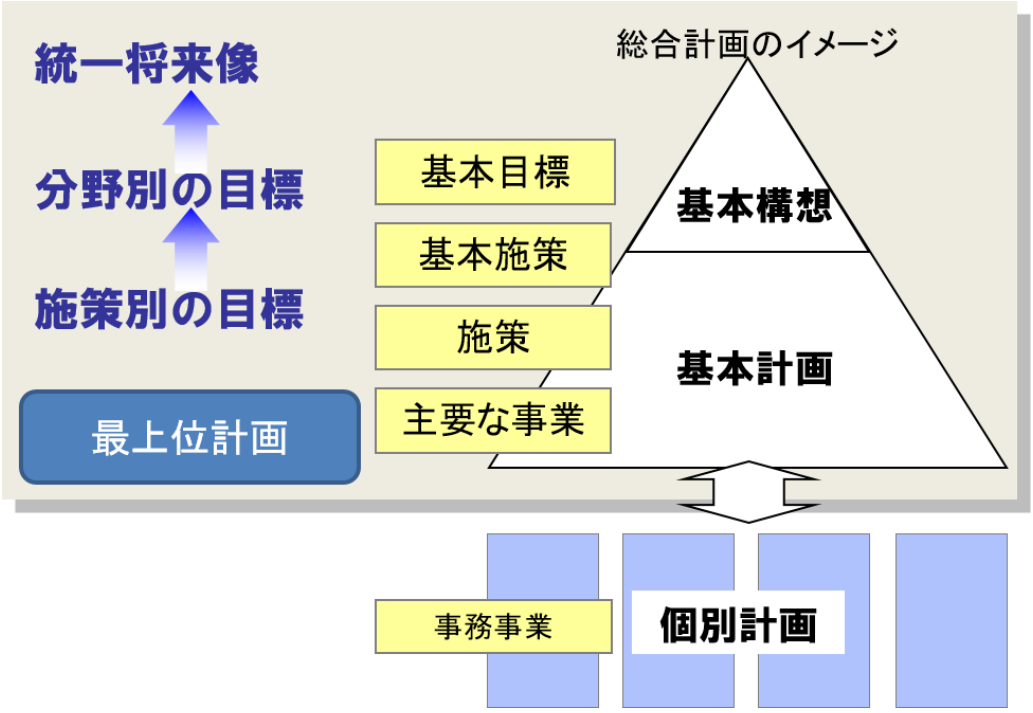
３　スケジュール（予定）

回	日程	主な内容
１	８月　８日（土）	会議の概要、グループワークの進め方
２	９月　５日（土）	＜５つの分野に分かれてグループワーク＞ 各基本施策の現在の進捗状況の確認、見直し論点の検討、めざすまちの姿の見直し、基本目標の検討
３	９月１９日（土）	
４	１０月　３日（土）	
５	１０月１７日（土）	
６	１０月３１日（土）	＜全体グループワーク＞ ・検討結果の発表、全体意見交換 ・市長への報告

4　総合計画とは

総合計画は市民と行政が共にめざす目標体系で、みんなが同じ方向を向いて協力し、まちづくりを進めていけるように、共有すべき目標を示すもの。

現計画は、基本構想及び基本計画で構成している。



⑴　基本構想

まちづくりの基本的な理念であり、市の目指す新しい都市像及び将来の基本目標を示すもの。

現計画の計画期間は８年間となっている。市が市民とともに協働して達成を目指す計画と位置付けており、市民と市が協働で策定した。

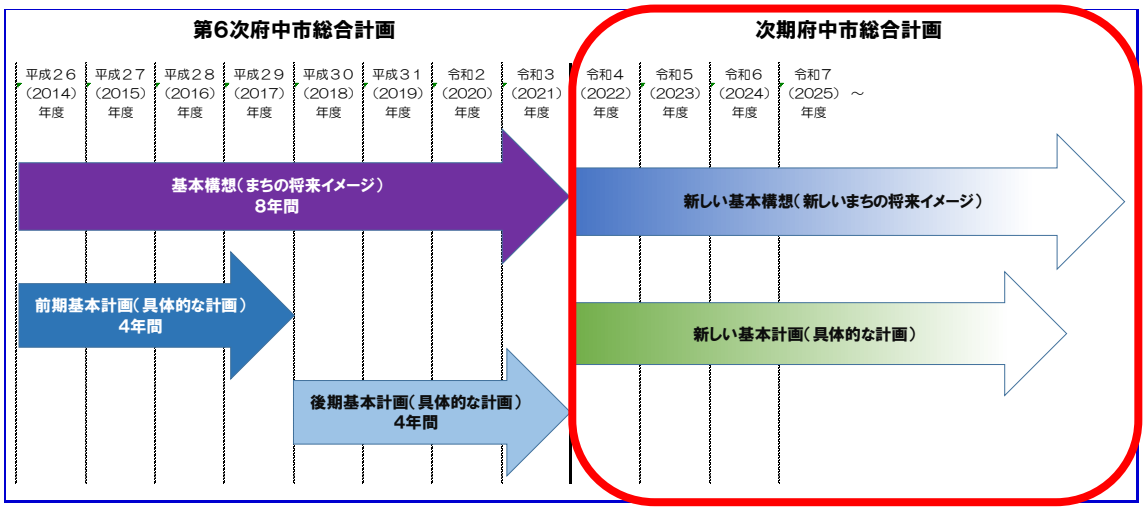
⑵　基本計画

まちづくりの基本的な計画であり、基本構想における都市像及び基本目標を踏まえた施策の基本的方向及び体系を示すもの。

前期基本計画、後期基本計画に分けて策定し、現計画の計画期間はそれぞれ４年間。市が責任を持って達成を目指す計画と位置付けており、市が主体となって策定した。

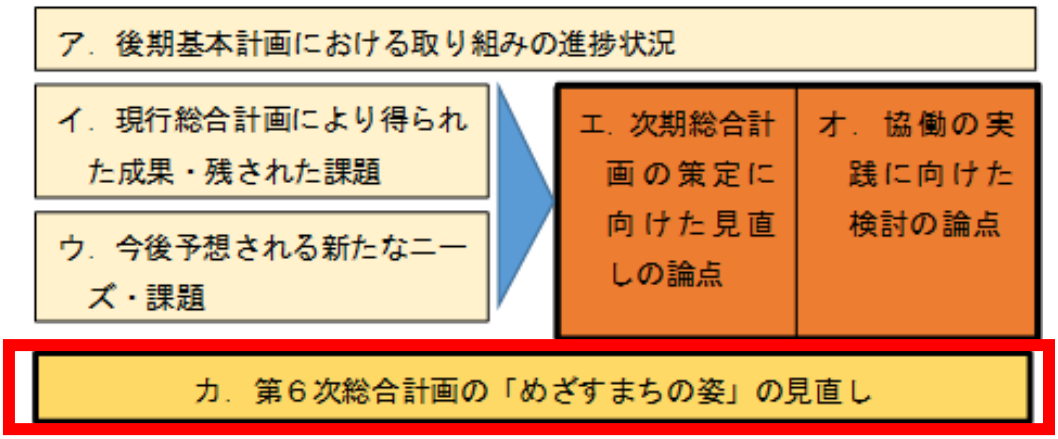
5　次期府中市総合計画について

今回検討する次期府中市総合計画は、令和４年度を計画期間の初年度とするもので、基本構想及び基本計画を策定する。



6　会議の検討事項

基本施策ごとに、市（各部課）が作成した「見直し論点シート」を使用して、市民の視点で、現計画の進捗状況の確認、これまでの課題等から次期総合計画の策定に向けた論点等の整理を行う。これを踏まえて、「めざすまちの姿」の見直しを行う。

その上で、新しい基本目標を検討する。

＜見直し論点シート＞